

# 光栄の森

平成23年11月毎月1日発行 第41号

発行者 光栄プロテック 木之下

## 新たな成長へ向けて

代表取締役 三田雅憲

山々が色づき、秋も深まりつつありますが、社員及びご家族様はいかがお過ごしでしょうか。

10月は、昔仕事でお世話になった3名の方がまだ50代60代の若さで亡くなられたことを風の便りで知り、命のはかなさを感じた月でありました。当社には、道下会長をはじめとして朝倉さんや久保さんなど60歳を超えてまだまだ現役で元気ががんばっている先輩がおられ本当にありがたく思います。なかなかその先輩方の恩に報いることはできませんが、われわれ後輩は、同じ時間・同じ空気を吸えるだけで本当に幸せな気持ちであります。元気でいつまでもがんばってください。

さて、お隣の中国では、少女が目の前で車に撥ねられても誰一人として見向きもせず、10数人目に前を通った年配の婦人によりやく助けられ、その少女は救急車で病院に運ばれたそうです。しかし、少女を助けた婦人の名前が報道されるやいなや売名行為だなどと言いがかりをつけて非難する人々がいるとの報道を見て、それが事実であれば非常に残念なことであると感じました。全く人道的でないし、助けた人に対してそれを売名行為などと言ってしまう神経の凶太さには呆れてしまいます。

また、昨日は日本でも、吹田市の駅前で小学校5年生の息子に「財布を落としてお金に困っている。」と道行く人に言わせ、物乞いをさせていた33歳の父親が逮捕されていましたが、倫理も道徳も無いなと思いました。あまりにも自己中心的すぎてあいた口が塞がりません。家族を守るために体を張ることが親として最低やれることだと思うのです。妻や子どもあるいは自分の守るべきもののために体を張ることがどれだけ大切なことか。

利益のないものに関してはほとんど無視をする。そのようなことが本当に良いのかどうかを皆で心して考えていかねばならない時期にきている気がしました。以前にも朝会で話したと思いますが、無感動・無関心な人間が老若男女に関係なく増えてきいるといわれています。感動に関しては、私も“無”が増えてきていて反省をせねばならないのですが、無関心（周りの人に対する無関心・人の仕事に関する無関心・上司からいわれた言葉への無関心・道具や扱い方に対する無関心）は当社でもあるように思えます。ぜひ、お互いに関心を持ち合いながら助け合って、老若男女ともども頑張っていきましょう。